

「東北地方整備局 南三陸国道事務所」が開所しました！

～ 沿岸南部の迅速かつ円滑な「復興道路」の整備に向けて ～

沿岸広域振興局 土木部
道路建設課

平成 24 年 4 月 9 日(月) 沿岸南部の「復興道路」の整備を担う「国土交通省東北地方整備局南三陸国道事務所」が釜石市鶴住居町に新設され、徳山日出男東北地方整備局長、野田武則釜石市長他関係首長、齋藤 沿岸広域振興局長等が出席し開所式が行われました。

開所式の来賓挨拶として、釜石市長からは、「釜石の奇跡（壊滅した鶴住居にある釜石東中学校の生徒が自主的に避難したこと）も道路あってこそ。命の道路の早期整備を期待する」、齋藤局長からは「美しい三陸を取り戻すため、三陸沿岸道路が重要な役割を果たす。大変期待している」とのお話がありました。

事務所前では津波で被災した甲子川河口に架かる矢の浦橋のサケとオオミズナギドリがデザインされた高欄を台座にした事務所看板の除幕が行われました。

【「南三陸国道事務所」概要】

1) 担当業務

宮城県境から山田町間の三陸沿岸道路及び
東北横断自動車道釜石秋田線の改築事業を担当
国道 45 号 (三陸沿岸道路) 5 区間 約 56km
国道 283 号 (釜石花巻道路) 1 区間 約 6 km

2) 事務所概要

平成 24 年度事務所担当予算 約 270 億円
職員数 38 名 (技術職 24 名、事務職 14 名)
官民連携による体制強化 を今後予定

体制強化：地元説明、用地取得、事業管理を一括で民間に委託するもの
＝パブリック・プライベート・パートナーシップ (PPP)



事務所看板 除幕の様子



事務所看板